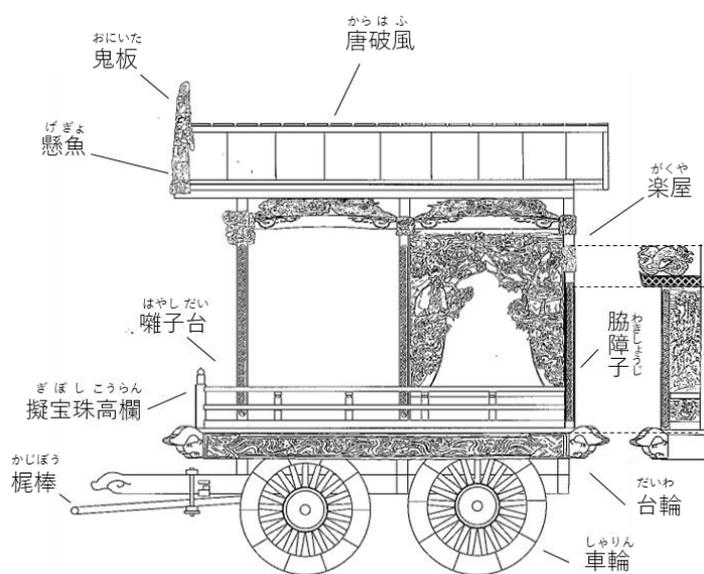


たてばんこ
立版古 八王子の山車
～一本柱建て人形山車～

山車の各部名称



※ 八幡町(旧二丁目)の山車をモデルにしています。

製作手順

■ 準備するもの

カッター (ハサミ)、カッターマット、定規、のり (ボンド)、粘着テープ (セロハンテープ) ※竹ぐし、アートナイフ等があると便利



■ 印刷

A4 サイズ×3 枚 カラー印刷で出力する。

※ 厚手の紙 (0.2 mm 程度) を使用すると作りやすい。

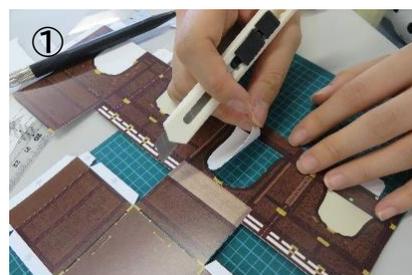


■ パーツの準備

① 全てのパーツを切り抜く。差込口も切っておく。

※ 高欄の白い部分は切り抜いても切り抜かなくてもよい。

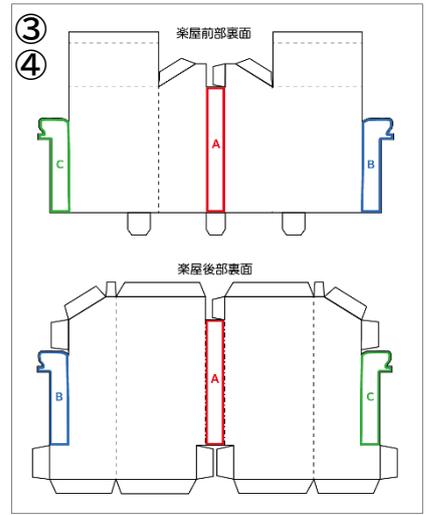
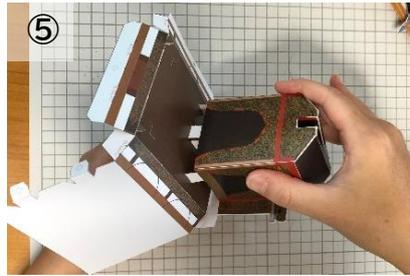
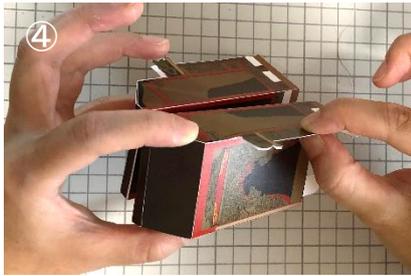
② 折り線に沿って折り目をつける。のりしろ (☆) も山折りにする。※ カッターの背などで折り目をつけると折りやすい。



■ 本体部分 (楽屋・台輪・囃子台) の組立て

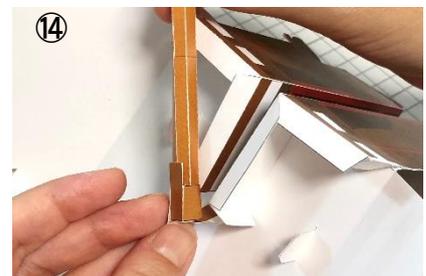
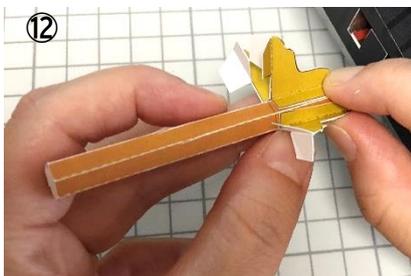
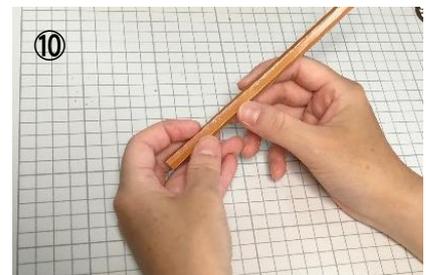
③ 楽屋前部の A と楽屋後部の A の裏側同士を張り付ける。

- ④ 楽屋部分を組み立てる。※脇障子 (B,C) は貼り合わせる。
- ⑤ ④の楽屋に台輪部分を取り付ける。※ 底は閉じない。
- ⑥ 囃子台柱を台輪に差込み、のりしろ D を楽屋前部の D に取り付ける。
- ⑦ 唐破風土台を組み立てる。
- ⑧ ⑦の土台を囃子台の上部 E に取り付ける。
- ⑨ 唐破風屋根を⑧の囃子台と楽屋の上に取り付ける。



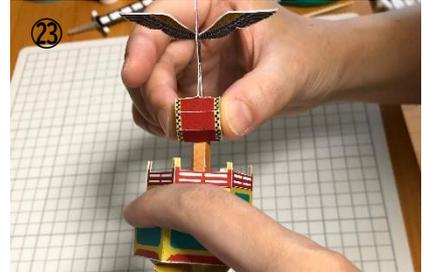
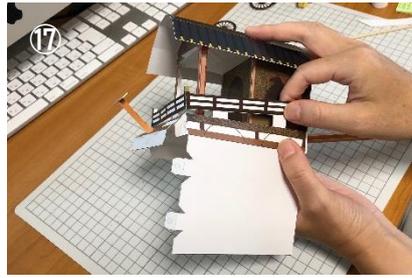
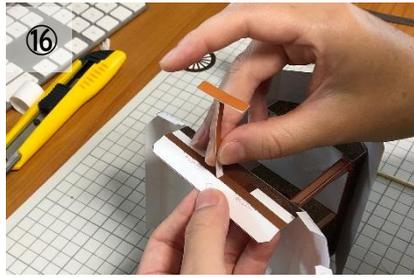
■ 一本柱人形部分の組立て

- ⑩ 心柱を六角中になるように折り、のり付けする。
- ⑪ 岩座・岩座支え・太鼓・閑古鳥を組み立てる。
- ⑫ ⑪の岩座支えを⑩の心柱に貼付ける。
- ⑬ 岩座の穴を⑫の心柱に通して岩座支えに張り付ける。
- ⑭ ⑬の心柱を台輪の心柱支えで包み込むようにのり付けする。



■ 付属品の取付け

- ⑮ 台輪部の側面をのり付けする。
- ⑯ 梶棒を組み立て、台輪部に差込み、台輪部の内側にテープで固定する
- ⑰ 2枚の高欄をつなぎ、台輪部に差込む。台輪部の内側にテープで固定する。



- ⑱ 台輪部の底を閉じてから前部を閉じる
- ⑲ 鬼板を唐破風に上から差し込む。
- ⑳ 懸魚を鬼板ののりしろ部分に張り付ける。
- ㉑ 車輪を貼り合わせる。
- ㉒ 車輪を取り付ける。
- ㉓ 太鼓に諫鼓鳥を取り付け、心柱の先にさす。



完成 !!